



## 学校評価アンケート結果の分析・考察その4 <教育目標「創造」について>

### <設問 23・24> 将学校行事・体験活動等の充実

大項目「創造」の最初は、行事や体験的な活動についての設問です。学校行事について生徒回答では、1年生のマイナス評価が最も高く、次が3年生でした。1年生については、4月恒例の会津へ学習旅行がコロナの影響で中止となっしまい、遠足・旅行的行事が全くなくなってしまったことが、3年生では2泊3日の東京・神奈川・横浜方面への修学旅行が延期・変更となり、岩手方面へ1泊2日となってしまうことが影響しているものと思われます。首都東京や近隣の首都圏でしか体験できないたくさんのこと、見学、訪問、FWや何と言ってもTDRへ行けなかった事はとても残念なことだったと考えます。保護者の結果を見ても、同様の結果となっています。

毎日、マスコミでは感染拡大の報道がされている中ですが、令和3年度の学校行事や体験活動が、まずは実施できること、そして少しでも通常に近い形でできることを心より祈りたいと思います。

### <設問 25・26> 将来の夢や目標を持っている

**注目**

#### ・将来について家族と話している

この2つの結果は、生徒・保護者ともにマイナス評価が多い順のトップ5に入っています。学習への意欲的な取組、前向きな生活のための原動力となる「夢」や「将来の目標」を持っていない生徒が13%、保護者から見れば21%いるという結果になっています。学年別に見ると、夢や目標がまだもてない割合は1年生が最も多く、これからの進路学習・キャリア学習を通して、一步一步夢や目標を形にしていってほしいと思います。また、3年生の生徒で、「家庭で話す時間を持っている」の設問に対し「全く当てはまらない」と回答している生徒が6%

いるのが少し気になります。受験を目前にして、大きな不安を感じていたり、家庭内でなかなか自分の進路について話す雰囲気がないのかもしれませんが。面談や先生への相談で、少しでも解決を図っていきましょう。

保護者も同様の傾向は見られますが、マイナス評価が生徒よりも多い傾向が他の設問同様ですが、ぜひ、保護者の方自身の仕事のおもしろさや大切さ、魅力や苦労等について、あるいはご自身が中学校時代に考えたこと等について、ご家庭でのキャリア教育の一つとしてお話しする時間をとってみてください。きることを心より祈りたいと思います。



### <設問 27・28> 困難を乗り越える・先生の前向きな関わりアドバイス

「困難を乗り越えようとがんばっている」への回答も、他と同様に生徒評価が高くなっています。保護者から見れば、もっともっとがんばってほしいと思う場面があるのだと考えます。

先生の関わりについても、同様の傾向が見られます。生徒から保護者に学校の思いや関わりがなかなか伝わらない部分が有るのかもしれませんが、今後も生徒一人一人と向き合い、認め、褒めながら伸ばして行きたいと考えます。

ちなみに、本校では、昨年度から「チーム飯野中 目指す教師像」を設定し、学校全体でそれを目標にして取り組んでいます。なかなかここに近づき、実践する

#### 「チーム飯野中」目指す教師像

- ◎ 健康で前向きさと人間的魅力にあふれる教師
- ◎ 生徒一人一人と向き合い、傾聴し、  
丁寧に対話する教師
- ◎ 授業と向き合い、改善に努め、挑戦する教師
- ◎ 生徒・同僚から謙虚に学び、成長し続ける教師
- ◎ 努力を惜しまず、笑顔で協働・創造する教師
- ◎ ルール・マナーを守り生徒のモデルとなる教師

ことは難しい部分も多いのですが、高みを目指して努力していく姿勢を持ち続けたいと思っています。

ご家庭では、「教師」を「親」に、「生徒」を「わが子」に置きかえて、親としてどうあるべきかについて、ちょっと立ち止まって振り返ってみてはいかがで

しょうか。

私たち教師も、保護者の皆さんも、それぞれ一人の人間です。常に冷静沈着で完全無欠な人間はいません。仕事で大変なことがあったり、思うようにならないことがあったり、あるいは何かトラブルがあったりすればイライラしたり、忙しいと感じてキレ気味になったり、あるいは手が回らなくなったりすることもあると思います。ここに示した「目指す姿」をそのまま行動に移せるかと言われれば難しい面が当然ありますが、生徒を導く教師として、子どもを育てる親・大人としてこうした理想を目指し、日々、自分の行動を変える、進化を続ける一人の人間でありたいと強く思います。

## <関連> 保護者の自由記述から

- 将来、大人になってからの社会についてもっと知ってほしい。(1年)

社会について知る機会、職業を体験する2年生の職場体験があります。残念ながら、今年度は、学校・事業所双方での新型コロナウイルス感染リスクが高いため中止となり、今年の2年



生には貴重な体験がさせられなかったこと、とても残念でなりません。でも、社会を知る機会、そこにつながっている大人を見ること、大人から聞くこと、大人に取材することでその一端が見えるものと考えます。



生徒にとって一番身近な社会人は保護者であり、教師です。私たちが教材となって対話することが大切だと考えます。ご家庭でも仕事のこと等をお話していただければと考えます。

- 子どもたちの「やる気スイッチ」を上手に入れて、積極的に行動できる環境づくり・先生の指導に感心しております。(2年)
- 「褒めてもらえた」を意識して、少しでも伸びてもらえるといいです。(全ての面で)(1年)
- 志保井が丘ノートが良いと思います。先生がきちんと目を通してくれて、子どものことを分かってもらえる。(1年)

ありがとうございます。目指す教師像「生徒一人一人と向き合い、傾聴し、丁寧に対話する教師」を実践している本校教員への評価だと嬉しく思います。

「褒める・認める」「わかる・できる」ことを今後も基盤として、志保井が丘ノートでの信頼関係づくりと、生徒自身の自己マネジメント能力の育成を図っていきたく思います。実際、毎日のノートでのやりとりは時間的にも大変です。空き時間がほとんどない教員もいる中ですが、生徒と向き合い、対話を大切にする姿勢、今後も大切にしていきたいと思っています。

逆に、こんな厳しいご意見もありました。包み隠さず、先生方と全体で共有し、学校だよりも掲載し、反省・改善の材料としてまいります。

- 部活動で大声で怒鳴られていることがある。怒鳴らず、褒めて伸ばしてあげてほしい。子どもたちがびくびくしながらやっていた。(1年)
- 公平さが不像な気がします。この人はOK、この人はNG・・・のような。(3年)
- 自分なりに「できた・うまく作れた」と思ったら、その教科の先生に「へたくそ」と言われたと、ショックだったようです。上手に完璧にできなかったとしても、「下手」などはよくないと思います。「褒める」で伸ばしてほしいと感じました。(1年)
- 先生で、加齢臭をつけるとか、子どもの作品を壊しても謝らない等、ひどい態度の方がいると子どもから聞き、とてもがっかりしています。(1年)

ご意見、ありがとうございます。この学校評価の回収と同時期に、保護者から直接学校に連絡があり、ご指摘のような好ましくない言葉かけ、学習意欲を失うような一言、信頼関係を壊すような関わりを改善してほしいと相談がありました。校長として、すぐに関係職員に事実の確認をし、改善を図るよう指導し、本人も改善を約束しました。ご指摘のような、教師の気になる言動、教師として好ましくない言動等があった場合には、すぐに学校までご連絡ください。事実を確認し、改善を図るよう取り組みますので、今後ともよろしくお祈りします。



逆に、この先生のこんなところがすばらしい、この指導のおかげで子どもがとてもがんばっている等のよい点もご連絡いただけたりと、さらによくなるものと考えます。人間、誰だって褒められて怒る人はいませんので・・・。

(ご指摘の「公平さ・・・」については、どういった内容なのか分かりかねますので、まだ確認・指導できていません。直接、学校までご相談ください。)